		PDCA	チェックシー	- 	(平成 24 🗲	丰度	実績評価)			担当局担当課課長名		上下水 水道	計画課
事業名	浸	水対策事業								Ι –	施策番 1 –		- 3
事業概要	近年	F、集中的な豪雨や都市 K被害を抑制するため、2	化の進展に起因する浸 公共下水道の整備を進め	水被害が増 かると共に流	加しています。 応域全体の浸水に対す	る安全	全度の向上を図ります。			事業 □ □	営 :部委託 :部委託 :の他		補助金 負担金 指定管理
П	事	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考))	人	目安の金額	課長	0.80 人	()
スト	業費	_{3,422,824} 千 円	1,900,000 千 円			件 費	165,200 千円	係長 職員	2.70 人 17.20 人	(人件費備者	(

7	費 5,722,027 円	円	費	100,200	職員 17.20 人		
		【Plan】計画 →			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価
目的		引するため、公共下水道の整備(雨水整備)を 向上など総合的な治水対策の検討を行いま		流域全体の貯留・浸	成果当事業の成業 難ですが、下の最小化をE	水道整備を行	値化することは困 テうことで浸水被害
		合は、目指している状態を文章で記載) : 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
代表的な成		を踏まえ、過去に浸水した地区や未整備地 整備し、浸水被害の最小化を目指します。	-	浸水被害の 最小化	- %	大変順調順調	代表的な成果指標の実績などを 参考に、成果の 状況をチェック
果指標	(最終目標と目標年度)					やや遅れ 遅れ	順調
活動計画		他区などの浸水の危険性の高い地区を優先的 、山手の急勾配から平坦地への変移箇所や3 整備を計画的に進めます。				下記のとおりて	ごす。
		い場合は、活動内容を文章で記載) 票名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
活動指!	雨水整備率 雨水管布設工事等を行い、雨かめることができます。	k整備率を上げることにより、治水対策を進	70 %	70.3 %	70.3 % 100.0 %	大変順調順調	活動指標の実績を参考に、活動の 状況をチェック
標						やや遅れ 遅れ	順調
		[Check]評価(分标	п)			
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	活動、成果の状況については、事業が予定。 本事業は施策に対する有効性が高く、近年0 実な取り組みを進めていくことが適当だと考	の集中豪雨を考			えており、目標	運達成に向け、着
題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	雨水整備は、浸水被害の根本的な解決策で 的な方法を検討し整備を行っています。	ぎあり、効率的な	た法だと考えます。	また、整備箇所毎の	現場の状況に	に応じた最も経済

[Ad	etic	on]→【Plan】	上記の評	価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
見直-	- ==			
状況	課題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
没				

			_	_	/ 					担	当局	上下	水道局
		PDCA	チェックシ-	- 	(平成 24 1	丰层	[実績評価)			担	当課	浄	水課
										課	長名	1	田
事											施	策番号	
業名	地	震対策推進事業	(基幹浄水場)							Π -	- 1	- (4)	- 4
事										. [□ 直営		補助金
業概	+±	見模な地震が発生した場	ヘニセハアキ 空令で字	字的炒~	ルた砕促するため甘於	ったご古も	ないの耐電ルを実体する	S± ので	_	事	■ 全部委	託 🗆	負担金
	\\\\\	が快な地長が光工した物	ロにのいても、女主で女	たりる心	アを確保するだめを計	小坦	也故の側長化を天心する	י משע	9 0	果 [手	□ 一部委	託 🗆	指定管理
要										法	□ その他	1	
	事	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考	()	人	目安の金額	課長	0.00 人	()
ス	業	1,076 千	100 407 千			件	1.225 千円	係長	0.01 人	(人件都	貴備考)		
۲	費	1,276 円	139,487 円			費	1,225 千円	職員	0.15 人				

	【Plan】計画 →				o】実施	→ 【Ch	eck】評価
目的	海水場は、市民の皆様に安全で安定した給水をおこなうためでを(誰を) どのような状態 にしたいのか (井手浦、穴生、本城)の耐震化を進めてます。特に井手浦、耐震化の完了を目指し、各種施設の耐震化を進めていきま	平成23年度~ もと具体的取組 争水場について	平成27年度)におい として基幹浄水場	成果実績	平成24年度は り2箇所の施記 性が確認され	は耐震診断方 投(洗浄水槽、	法の見直し等によ ポンプ室)で耐震
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標		年度実績 達成率)	+	【成果の状況】
	安定して供給できる水道						
代表的	地震が起きても、安定して水道水を供給する状態を目指します。	_	安定供給の 向上		-		代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック
な 成	(最終目標と目標年度)				- %	順調	
果指	浄水場の耐震化					やや遅れ	
標	井手浦浄水場の沈殿池、ろ過池、浄水池、洗浄水槽、ポンプ室の5施設について耐震性が確認された時点で目標達成となるため、その施設数を成果目標として設定しました。	_	_		2 箇所	遅れ	順調
	(最終目標と目標年度) 井手浦浄水場の耐震化完了(平成27年度)				- %		
活動計画	平成24年度は井手浦浄水場及び本城浄水場の浄水池の一部の耐震化工事場浄水池の残りの部分と洗浄水槽についての耐震設計業務をおこないます		⁻。また井手浦浄水	実	しにより耐震	設計の実績は P水池、本城》	や施工方法の見直 ありませんが、井 争水場浄水池の耐
	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標		年度実績 達成率)	→	【活動の状況】
	耐震設計の実施	<i>t</i> -t-	h-t-		0 箇所	1 w====	活動指標の実績
活動指	耐震補強工事を行うための耐震設計を行います。 (井手浦浄水場浄水池、洗浄水槽)	2 所	2 箇 所		0.0 %	人多順副	を参考に、活動の状況をチェック
標	耐震補強工事の実施				2 笛記	やや遅れ	
	耐震補強工事を行います。 (井手浦浄水場浄水池、本城浄水場浄水池)	_	2 箇 所	1	2 箇所 00.0 %	遅れ	順調

(Check)評価(分析) (成果の状況) [活動の状況] を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点 (P経済性」(同成果を低コストで) の 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

[A	ctic	on]→【Plan】	上記の評	「価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
見				
直し	課			
状況	題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
等				

		PDCA	チェックシ-	ート (平月	或 24 年月	隻実績評価)			担当局 担当課 課長名	計	水道局 画課 谷
事業名	地	震対策推進事業	(基幹配水池)						п –	施策番号) - 4
事業概要	応	急給水拠点となる7つの	基幹配水池の耐震化工	事を行うものです。					業 手	営 口部委託 口部委託 口の他	負担金
コスト	事業費	24年度執行額 159,301 千 円	25年度当初予算額 496,000 千 円	(事業費備考)	人件費	0.070 7	課長 係長 職員	0.03 人 0.09 人 0.27 人	(;)	

	事 24年及秋门版 2	3年及当物了异镇	-11301111111111111111111111111111111111	人	ロタの並領	本立	·	`	,
ス	業 費 159,301 千 円	496.000 千		件	3.270 ↑	 係長	5 0.09 人	(人件費備考)	
۲	費 159,301 円	496,000 千円		費	3,270 —	職員	0.27 人		
		【Plan】計[画 →			(Do	】実施	→ (Ch	eck】評価
		E. 1411	—						
_	何を(誰を) 土地サンル電子	STATE AT LOS			+++4================================	成			
且	ドのような状態 人規模な地震が	が発生した場合において	も安全で安定的な給	i水を確保するカ	こめ、基幹配水池の	果児	は果実績は「	下記のとおりて	です。
的	にしたいのか 間 最診断で間点	震化工事を行います。				実に			
	指標(数値化できない場	合は、目指している状態を	文章で記載)	23年度実績	24年度目標		度実績	→	【成果の状況】
	(上段:指標名 下段	:指標の説明と目標設定の)考え方)	20千尺天順	2寸十/文口1赤	(達	成率)	,	「ルネッルル」
	安定して供給できる水道								
									代表的な成果指
代	 地震が起きても、安定して水道	キャナル公士で比能ナロ	+b1 ++		安定給水の		-		標の実績などを
表	地長が起さても、女足して小垣	三小で供和9つ仏恋で日	拍しより。	_	向上			大変順調	参考に、成果の
的か								八叉順副	状況をチェック
な成	(最終目標と目標年度)						- %	順調	
果	77 1. W. 71.75.46.50 +								
果指	配水池耐震施設率							やや遅れ	
標	配水池の総容量に対して耐震	対策の施されている配え	水池容量の割合を				16.3 %	遅れ	
	表し、次の計算式で算出します。いる配水池容量(浄水池含む)			3.8 %	16.3 %		10.0 /0	建れる	順調
	(いる配水池谷重(浄水池含む) - 位:%)	下配小心秘谷里(伊小心	236) / 100(单						
	I '	亚芹07年中)				10	0.0 %	-	
	【(最終目標と目標年度) 37.5%(平成27年度)				10	0.0 %		
						<u> </u>			
活動	亚成24年度计 克目 口修	藤 /太配水池の耐霊ルー	て車な行います(てす	空マは巫母の	5.年度)また 昨年	活動	7 成24年度に	+ 古目 口心	タ 藤 / 大配 水池の
動	平成24年度は、高見、日峰、 度より引き続き工事している山。				5年度)。また、昨年	動			锋、藤ノ木配水池の ⁻。
	平成24年度は、高見、日峰、 度より引き続き工事している山ノ				5年度)。また、昨年	動		は、高見、日崎 に着手しまし <i>†</i> :	
動計	度より引き続き工事している山ノ	/神第一配水池の耐震化	と工事を完了します。		5年度)。また、昨年	動実績	対震化工事(
動計	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できない	ノ神第一配水池の耐震化 い場合は、活動内容を文章	と工事を完了します。		5年度)。また、昨年 2 4年度目標	動実績 24年	度 実績		
動計	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できない (上段:指	/神第一配水池の耐震化	と工事を完了します。			動実績 24年	対震化工事(に着手しまし <i>た</i>	C ₀
動計画	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できない	ノ神第一配水池の耐震化 い場合は、活動内容を文章	と工事を完了します。	23年度実績	24年度目標	動実績 24年	度 実績	→	【活動の状況】
動計画活	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できな (上段:指柱 配水池耐震化工事発注箇所	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	で記載)	23年度実績	24年度目標	動実績 24年	度実績 成率	→	【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の
動計画活動	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できない (上段:指	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	で記載)	23年度実績	24年度目標	動 実 績 24年 (達	度実績 成率	→	【活動の状況】
動計画活	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できな (上段:指柱 配水池耐震化工事発注箇所	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	で記載)	23年度実績	24年度目標	動 実 績 24年 (達	度実績 成率) 3 箇所		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の
動計画活動指	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できな (上段:指柱 配水池耐震化工事発注箇所	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	で記載)	23年度実績	24年度目標	動 実 績 24年 (達	度実績 成率) 3 箇所		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できな (上段:指柱 配水池耐震化工事発注箇所	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	で記載)	23年度実績	24年度目標	動 実 績 24年 (達	度実績 成率) 3 箇所		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の
動計画活動指	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できな (上段:指柱 配水池耐震化工事発注箇所	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	で記載)	23年度実績	24年度目標	動 実 績 24年 (達	度実績 成率) 3 箇所		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指	度より引き続き工事している山ノ 指標(数値化できな (上段:指柱 配水池耐震化工事発注箇所	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	で記載)	23年度実績 箇 所	24年度目標 3 箇所	動 実 績 24年 (達	度実績 成率) 3 箇所		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指	度より引き続き工事している山 指標(数値化できな (上段:指指 配水池耐震化工事発注箇所 計画とおりに配水池耐震化工	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	で記載)	23年度実績	24年度目標 3 箇所	動 実 績 24年 (達	度実績 成率) 3 箇所		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指標分	度より引き続き工事している山 指標(数値化できない (上段:指析 配水池耐震化工事発注箇所 計画とおりに配水池耐震化工	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	で記載)	23年度実績 箇 所	24年度目標 3 箇所	動 実 績 24年 (達	度実績 成率) 3 箇所		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指標分析	度より引き続き工事している山 指標(数値化できない (上段:指格 配水池耐震化工事発注箇所 計画とおりに配水池耐震化工 【成果の状況】 【活動の状況】	が 神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	と工事を完了します。 で記載)	23年度実績 1 箇所	24年度目標 3 箇所	24年(達	度実績 成率) 3 箇所 0.0 %		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指標分析及	度より引き続き工事している山 指標(数値化できない (上段:指植 配水池耐震化工事発注箇所 計画とおりに配水池耐震化工 【成果の状況】 【活動の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、	が神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	と工事を完了します。 で記載)	23年度実績 1 箇所	24年度目標 3 箇所	24年(達	度実績 成率) 3 箇所 0.0 %		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指標分析及び	度より引き続き工事している山 指標(数値化できない (上段:指析 配水池耐震化工事発注箇所 計画とおりに配水池耐震化工 【成果の状況】 【活動の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析	が 神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	と工事を完了します。 で記載)	23年度実績 1 箇所	24年度目標 3 箇所	24年(達	度実績 成率) 3 箇所 0.0 %		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指標分析及び課題	度より引き続き工事している山 指標(数値化できない (上段:指植 配水池耐震化工事発注箇所 計画とおりに配水池耐震化工 【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで)	が 神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	と工事を完了します。 で記載)	23年度実績 1 箇所	24年度目標 3 箇所	24年(達	度実績 成率) 3 箇所 0.0 %		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指標分析及び課題の	度より引き続き工事している山ル 指標(数値化できない (上段:指植 配水池耐震化工事発注箇所 計画とおりに配水池耐震化工 (活動の状況) を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)	が場合は、活動内容を文章 東名 下段:指標の説明) 事が進められているかま 平成24年度の目標で	と工事を完了します。 で記載) 長すものです。 【Check をある3配水池の耐震	23年度実績 1 箇所 ②評価(分 を 後化工事を実施	24年度目標 3 箇所 近ているため、活動、	動実績 24年 (達 10) () () () () () () () () ()	rime(化工事に 度実績 成本) 3 箇所 10.0 %		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指標分析及び課題	度より引き続き工事している山 指標(数値化できない (上段:指植 配水池耐震化工事発注箇所 計画とおりに配水池耐震化工 【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで)	が 神第一配水池の耐震化い場合は、活動内容を文章票名 下段:指標の説明)	と工事を完了します。 で記載) 長すものです。 【Check をある3配水池の耐震	23年度実績 1 箇所 ②評価(分 を 後化工事を実施	24年度目標 3 箇所 近ているため、活動、	動実績 24年 (達 10) () () () () () () () () ()	rime(化工事に 度実績 成本) 3 箇所 10.0 %		【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック

[A	ctic	on]→【Plan】	上記の評	価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
_				
見直				
یا	課			
状況	題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
等				

			上「小坦川
		担当局	上下水道局
	PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)	担当課	施設課
		課長名	中村
事		施	策番号
業名	地震対策推進事業(浄化センター)	Ⅱ - 1	- (4) - (4)
事業概要	浄化センターの施設のうち最重要施設である管理棟、汚泥処理棟及び自家発電棟の耐震化を図るものです。	事業	委託 □ 指定管理
п	事 24年度執行額 25年度当初予算額 (事業費備考) 人 目安の金額 課長 人	()
スト	業費 101,920 千円 560,000 千円 件費 850 千円 係長 0.01 人	(人件費備考)	
		. [0]	. 1 €ar /ar
		→ [Ch	eck】評価
目的	何を(誰を) 9。	震時において	直化することは困 も下水道が最低 らことを目指しま
	少. 一		

的	にしたいのか 要施設としては、有人施設(管理棟・汚泥処理棟)や緊急時に 電棟の耐震補強工事を行っていきます。			実 限有すべき機 績 す。	能を確保する	ることを目指しま
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	\rightarrow	【成果の状況】
	地震に強い下水道をつくる					
代表的な	地震時においても、下水道が最低限有すべき機能を確保することを目指します。	-	重要施設の 耐震化	-	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック
な成	(最終目標と目標年度)			- %	順調	
果指					やや遅れ	
標					遅れ	順調
						川只司内
	(最終目標と目標年度)					
活動計画	(取終日標と日標年度) 平成24年度は、新町浄化センターの自家発電室、北湊浄化センターの汚泥センターの管理棟、汚泥処理棟、皇后崎浄化センターの管理棟・中央操作材震設計を実施します。			方 室、北湊浄化- 動 工事、日明浄化 実 棟、皇后崎浄化 技 汚泥処理室、E した。	センターの汚泥 ヒセンターの管 ヒセンターの管	ンターの自家発電 と処理棟の耐震補強 注理棟、汚泥処理 注理棟、汚泥処理 が理棟・中央操作棟、 耐震設計を実施しま
動計	平成24年度は、新町浄化センターの自家発電室、北湊浄化センターの汚泥センターの管理棟、汚泥処理棟、皇后崎浄化センターの管理棟・中央操作様			活 室、北湊浄化・ 動 工事、日明浄化 実 棟、皇后崎浄化・	センターの汚泥 ヒセンターの管 ヒセンターの管	記処理棟の耐震補強 理棟、汚泥処理 理棟・中央操作棟、
動計画	平成24年度は、新町浄化センターの自家発電室、北湊浄化センターの汚泥センターの管理棟、汚泥処理棟、皇后崎浄化センターの管理棟・中央操作材震設計を実施します。 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)	表表示。 23年度実績	、自家発電室の耐 24年度目標	活 室、北湊浄化・ 動 工事、日明浄・ 実 棟、泥処理理、 I した。 24年度実績 (達成率)	センターの汚泥 ヒセンターの管 ヒセンターの管 自家発電室のi	記処理棟の耐震補強 理棟、汚泥処理 時理棟、汚泥処理 時理棟・中央操作棟、 耐震設計を実施しま 【活動の状況】 活動指標の実績
動計画活動	平成24年度は、新町浄化センターの自家発電室、北湊浄化センターの汚泥センターの管理棟、汚泥処理棟、皇后崎浄化センターの管理棟・中央操作材震設計を実施します。 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	東、汚泥処理室 	、自家発電室の耐	活 室、北湊浄化・ 動 工事、日明浄・ 実 棟、原明浄・ 汚泥・原・原・ した。 24年度実績 (達成率) 2 箇所	センターの汚泥 ヒセンターの筒 ヒセンターの筒 自家発電室のi	記処理棟の耐震補強 評理棟、汚泥処理 序理棟・中央操作棟、 耐震設計を実施しま
動計画活	平成24年度は、新町浄化センターの自家発電室、北湊浄化センターの汚泥センターの管理棟、汚泥処理棟、皇后崎浄化センターの管理棟・中央操作材震設計を実施します。 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 耐震補強工事の実施 耐震補強工事を行います。	表表示。 23年度実績	、自家発電室の耐 24年度目標	活 室、北湊浄化・ 動 工事、日明浄・ 実 棟、泥処理理、 I した。 24年度実績 (達成率)	センターの汚形 ヒセンターの トセセンターの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	型理棟の耐震補強 理棟、汚泥処理 き理棟、汚泥処理 き理棟・中央操作棟、 耐震設計を実施しま 【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の
動計画活動指	平成24年度は、新町浄化センターの自家発電室、北湊浄化センターの汚泥センターの管理棟、汚泥処理棟、皇后崎浄化センターの管理棟・中央操作材震設計を実施します。 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 耐震補強工事の実施	表表示。 23年度実績	、自家発電室の耐 24年度目標	活 室、北湊浄化・ 動 工事、日明浄・ 実 棟、原明浄・ 汚泥・原・原・ した。 24年度実績 (達成率) 2 箇所	センターの汚泥 ヒセンターの筒 ヒセンターの筒 自家発電室のi	型理棟の耐震補強 理棟、汚泥処理 き理棟、汚泥処理 き理棟・中央操作棟、 耐震設計を実施しま 【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の

		【Check】評価(分析)
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	活動・成果の状況については、計画通りに進めているため、順調としました。
題の整		工法検討に当たっては、既設の建物の耐震計算をクリアーをすることが最優先であり、経済性・効率性に対する高い効果を得ること は困難ですが、今後も検討を続けてまいります。

[A	ctic	on]→【Plan】	上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入						
見直し状況等	課題			26年度の活動計画(見直し内容) その結果目指す成果(26年度の成果目標)					

									担	当局	上下	水道局
		PDCA	チェックシ-	- ト (3	呼成 24 年	F度	実績評価)		担	当課	海外	事業課
				_ ,			7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		語	果長名	d	中嶋
事			_							施	策番号	
業名	水	道技術の国際協	弱力						П	- 3	- (4)	- 2
事業概要	連れを図	「の浄水技術や漏水削洞 「などへ職員を派遣し、 「別、世界に貢献する水道 「します。	k質の向上、漏水の削減	などに取り組みる	ます。加えて、各	国の研	「修員の受け入れなど、	国際協力•交流	事業手法	■ 直営 □ 全部 □ 一部 □ その	委託 🗆	負担金
П		24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人	目安の金額	課長 0.70 人				
ス		11.113 千	13.545 千			件	36.425 千円	係長 2.05 ^人	(人作	‡費備考)		
L		11,110 🖽	10,040 m			弗	00,420]		-1			

1	11,110 円	円 円	費	00,420	職員 1.05 人		
		【Plan】計画 →			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価
目的	何を(誰を) あるベトナム国 どのような状態 に取り組みます	析や漏水削減などの技術を活かし、カンボジ ハイフォン市、中国大連市などへ職員を派遣 っ加えて、各国の研修員の受け入れなど、国 記ます。また、本市上下水道局職員の国際愿 ○寄与します。	し、水質の向上]際協力・交流を	、漏水の削減など 図り、世界に貢献	中 済は紙の向	ら研修生を継続 上を図っている	続的に受入れ、水 ます。
	指標 (数値化できない場 (上段:指標名 下段	合は、目指している状態を文章で記載) : 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
代表的な成	国際技術協力でアジアの発展に 国際技術協力を通じ、本市が有 て、海外技術者の育成を図りま (最終目標と目標年度)	-	開発途上国の 技術向上を 目指します。	- %	大変順調順調	代表的な成果指標の実績などを 参考に、成果の 状況をチェック	
果指標	(最終目標と目標年度)					やや遅れ 遅れ	大変順調
活動計画		る水道事業人材育成、ベトナム国ハイフォン 減などのために職員の派遣や研修員の受け				境改善が進め 成に取り組みる	られるよう、積極 ました。
	(上段:指標	い場合は、活動内容を文章で記載) 票名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
活動指	協会(CLAIR)事業を活用した受入	IICA草の根技術協力事業及び自治体国際化 、研修に加え、国際協力機構(JICA)や北九州 D依頼により受け入れた研修員の人数です。	45 人	80 人	86 人 107.5 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
標						やや遅れ 遅れ	大変順調
		[Check	】評価(分類	fi)			
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	本市の提案により採択を受けたJICA草の根による受入研修などの国際協力を継続的にり研修生を受け入れており、大変順調としまこと、また本市のPR・イメージアップにも寄与	実施することにした。成果につ	より、現地の技術力 いては、研修生の受	向上に寄与している け入れを通じて開	ます。活動につ	いては、予定どお
おお客園はこの代記 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点 「然間に対している。 ※民間活力導入の視点 まからなどの代記 「おお客園はこの代記 国際協力機構(JICA)の制度を積極的に活用することにより、本市のコスト縮減を図っています。民間活力の導入において水道事業は地方自治体によって運営されており、そのノウハウは自治体にあります。したがって、民間の協力実施主体として市が関わっていく必要があります。							

[A	etic	on]→【Plan】	上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入						
				26年度の活動計画(見直し内容)					
_									
見直									
し	課								
状況	題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)					
等									

□ 一部委託 □ 指定管理

□ その他

やや遅れ

遅れ

大変順調

法

0.89 사

担当局

PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)	担	当課	海外	事業課
	課	長名	4	中嶋
		施	策番号	
下水道技術の国際協力	II	- 3	- (4)	- 2
アジアを中心とした国や地域(中国大連市、ベトナム国ハイフォン市、インドネシア、カンボジア、サウジアラビアなど)への職員派遣		■ 直営		補助金
や海外からの研修員受入れにより、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うことで、海外の技術者の育成を進め、世	事	□ 全部委	託 🗆	負担金
界の水環境改善に貢献します。併せて、国際技術協力を通じ、国際感覚やプレゼンテーション能力の向上など、本市職員の育成に	業	一 — 部 君	\$# n	华宁等理

人

目安の金額

課長

界の水環境改善に貢献します。併せて、国際技術協力を通じ、国際感覚やプレゼンテーション能力の向上など、本市職員の育成に

(事業費備考)

(人件書備者 ス 業 係長 0.89 人 12,858 12.739 29.035 千円 ۲ 費 費 1.32 人 職員 (Plan)計画 【Do】実施 【Check】評価 何を(誰を) 、果実績 アジアを中心に水環境の改善が必要な国や地域に対し、本市が長年の事業運営の過程で 世界各国から研修生を継続的に受入れ、下 アンドを中心に小塚境のは音がある。 どのような状態 培った技術やノウハウを活かした指導を行い、海外の技術者を育成します。 水道技術の向上を図っています。 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 24年度実績 23年度宝績 24年度目標 【成果の状況】 (達成率) 国際技術協力でアジアの発展に貢献 代表的な成果指 開発途上国の 海外の技術者育成のため、本市職員の派遣や海外研修員の受入れを進め 標の実績などを 技術力向上を 表的な成 参考に、成果の 大変順調 目指します。 状況をチェック % (最終日標と日標年度) 研修員の受入:2.200人以上(平成32年度) 順調 果 やや遅れ 指 遅れ 大変順調 (最終目標と目標年度) 活 下水道技術を海外の研修員に効率的・効果的に伝えるため、国際技術協力や下水道に精通した機関である 海外の水環境改善、保全が進められるよう、 (独)国際協力機構(JICA)、(財)北九州国際技術協力協会(KITA)や国の下水道グローバルセンター(GCU 計 積極的に人材育成に取り組みました。 S)などと連携して取り組みます。 画 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 24年度実績 23年度実績 24年度目標 【活動の状況】 (達成率) 活動指標の実績 407 人 本市の提案により採択を受けたJICA草の根技術協力事業及び自治体国際化 大変順調 270 人 200 人 を参考に、活動の 協会(CLAIR)事業を活用した受入研修に加え、国際協力機構(JICA)や北九州 状況をチェック 203.5 % 国際技術協力協会(KITA)などの依頼により受け入れた研修員の人数です。 順調 指

【Check】評価(分析)

【成果の状況】 【活動の状況】 析 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 び 外部要因などの視点 課

顥

മ

整

理

名

要

 \neg

事

も寄与します。

24年度執行額

25年度当初予算額

本市の提案により採択を受けたJICA草の根技術協力事業や自治体国際化協会(CLAIR)の受入研修に加え、JICAやKITAの依頼 による受入研修などの国際協力を継続的に実施することにより、現地の技術力向上に寄与しています。活動については、予定どおり研修生を受け入れており、大変順調としました。成果については、研修生の受け入れを通じて開発途上国の技術力向上に繋がる こと、また本市のPR・イメージアップにも寄与することから、大変順調としました。

「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

受入研修については、JICAや国土交通省の制度を活用することで、本市のコスト縮減を図っています。 また、講師謝金を下水道会計の収入としています。

【Action】→【Plan】			上記の割	『価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
見直し	課			
状況	題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
等				

	PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)									担当局担当課課長名			下水道局 十画課 谷
事業名	水道トライアングル構想(基幹浄水場間の送水系統のループ化)									Ш	施 一 1	策番号 - (3	
事業概要	【 │プ機能を強化するものです。									事業手法	□ 直営 ■ 全部 □ 一部 □ その	委託 □	負担金
П	本 24年度執行額 25年度当初予算額 (事業費備考) 人 目安の金額 課長 0.10 人										(
スト	業費	400,188 千 円	o 千 o 円			件 費	8,150 千円	係長 職員	0.25 人 0.60 人	(人件	費備考)		

	【Plan】計画 →			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価
目的	何を(誰を) どのような状態 にしたいのか 海水場、井手浦浄水場)を送水管で連絡し、浄水場間のバ	の基幹浄水場。 ックアップ機能の	穴生浄水場、本城 強化を図ります。	成 果 炭 績	下記のとおりて	ँ र
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	事故・災害発生時に安定給水が可能な人口					
代表的	浄水場等が事故・災害で供給出来なくなった場合に、他の浄水場からの 応援給水により影響範囲を少なくすることで、安定的な給水を確保すること が可能となる人口です。	₆₀ 万	₇₉ 万 人	79 万人	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック
な 成	(最終目標と目標年度) 79万人(平成24年度)			100.0 %	順調	N/002 / 1//
果指					やや遅れ	
標					遅れ	
					. — .	順調
	(最終目標と目標年度)				_	
活動計画	必要な工事の完了後、試験通水を行い、水道トライアングルの供用開始な	を図る。		積	下記のとおりて	₹ † 。
	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	試験通水·供用開始			100 %	L	活動指標の実績
活動指	水道トライアングルの試験通水を行い、供用開始します。	_	100 %	100.0 %	大変順調	を参考に、活動の状況をチェック
標	 穴生~本城連絡管整備				やや遅れ	
	水道トライアングル構想に係る工事(穴生~本城連絡管)が予定どおり行われているかを表すものです。	0.3 km	0.8 km	1.1 km	遅れ	大変順調
	1716にいるかで致りものです。			137.5 %		

Check 評価(分析) (成果の状況) 活動の状況 活動の状況 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで)のののの分析 「教率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点 実施設計において、経済性等も考慮した最適な工法を採用しているため、これ以上の高い効果は得られないと考えています。また、新若戸道路に合わせて送水管を整備しているため、送水管単独で整備するよりも経済的です。

【Action】→【Plan】 上記の詞				価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入						
				26年度の活動計画(見直し内容)						
見直し状況等	課題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)						

		PDCA	チェックシ-	- ト	(平成 24 年	E度	字錯評価)				当局当課		水道局 管理課
		. 5 0 %		•	, i , vo = 1 ¬					課:	長名	洼	田
事										施策番号			
業名	小規模貯水槽水道の適正管理に関する指導										- 1	- (3)	- 1
事業概要	概 貯水槽設置者に対する現地点検指導や文書による啓発などの管理指導を行っています。									事業手	□ 直営 ■ 全部 □ 一部	話 口	補助金 負担金 指定管理
▼	·										□ その他	<u>b</u>	
スト	業費	30,429 千 円	26,000 千			件費	7,150 千円	係長 職員	0.15 人 0.60 人	(人件)	費備考)		

1.		貝		職員 0.60 人			
	【Plan】計画 →			【Do】実施	→ 【Ch	eck】評価	
目的	何を(誰を) どのような状態 にしたいのか	る水道を目指しま	成果を数値で把握することは困難です 実続的に管理指導を行うことにより、管理 検				
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	管理水準の向上						
代表的な	小規模貯水槽水道の設置者に対して、継続的に管理指導を行うことにより、管理水準の向上を図ります。	-	管理水準の 向上	-	士 亦順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック	
な成	(最終目標と目標年度)			- %	順調		
果指					やや遅れ		
標					遅れ		
					Æ10	順調	
	(最終目標と目標年度)						
活動計画	小規模貯水槽水道の設置者に対して現地点検指導、文書による啓発などの 共施設及び厚生労働省登録の検査機関によって問題なしと判定された箇所	管理指導を行 を除きます。	います。ただし、公	活動 実績	下記のとおりて	ॅंचे .	
	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	年間管理指導件数			1,634 件	I WT-F	活動指標の実績	
活動	 小規模貯水槽水道の設置者に対して管理指導を行った件数です。	1,626 件	1,600 件	1,034	八叉順副	を参考に、活動の	
指	17.が決別が個が追り改造日に対して自在日寺と17.7元円数です。			102.1 %	順調	状況をチェック	
標					やや遅れ		
					遅れ	順調	

	【Check】評価(分析)										
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	活動の状況については、今年度も目標1,600件を上回る1,634件に対して管理指導を実施できたので、順調としました。成果については、事業の実施前と比較して管理水準も向上傾向にあることから、順調としました。									
題の整	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	これまで蓄積したデータを活用することで、管理水準の向上を目指し引き続き検討を進めていきます。									

【Action】→【Plan】 上記の			上記の評	「価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
見				
直	課			
状に	題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
況等				

	PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)	担当局担当課課長名	上下水道局 配水管理課 津田
事業名	アクアフレッシュ事業(学校の直結式給水の推進)		策番号 - (3) - ①
事業概要	水槽式給水の小中学校等では、近年の児童、生徒数減による使用水量の減少や、休日に水を使用しないことなどにより、貯水槽内に水が滞留し、水のおいしさが軽減する状況にあります。そこで、上下水道局では市立小中学校等の直結式給水への切替えを推進するため、既存の給水管口径のまま直結式給水への切替えが可能な学校を対象に直結化の支援をしています。	■ 直営	委託 □ 指定管理
コスト	事 24年度執行額 25年度当初予算額 (事業費備考) 人 目安の金額 課長 0.05 人 業費 34,986 円 35,000 円 円 費 2,950 千円 (係長 0.05 人	(工事費	助成

	14 14			収 貝 0.25 八		
	【Plan】計画 →			【Do】実施	— → Ch	
	Ki lali Ja je				/ [Oil	eck at Im
自的	何を(誰を) どのような状態 にしたいのか 市立小中学校等の直結給水を推進し、子どもたちがよりま	いしい水道水を	飲めるようにするこ	積	下記のとおりて	ごす。
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	学校直結率					
代表的	市立小中学校の内、直結式給水を採用している学校の割合です。 (直結式給水の学校数/全学校数)	53 %	64 %	61 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック
な成日	(最終目標と目標年度) 89%(平成27年度)			95.3 %	順調	
果指					やや遅れ	
標					遅れ	順調
	(最終目標と目標年度)					
活動計画	学校の直結化に要する工事費の一部助成を行います。			活 動 実 積	下記のとおりて	ごす 。
動計	学校の直結化に要する工事費の一部助成を行います。 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	動 実 活動実績はT	下記のとおりて	です。 【 活動の状況 】
動計画	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)	23年度実績	24年度目標	動 実 績 24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
動計画活動	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標 20 校	動 実績 24年度実績 (達成率) 12 校	→ 大変順調	【活動の状況】 活動指標の実績を参考に、活動の
動計画活	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 学校直結化数			動 実 績 24年度実績 (達成率)	→ 大変順調 順調	【活動の状況】 活動指標の実績
動計画活動指	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 学校直結化数			動 実績 24年度実績 (達成率) 12 校	→ 大変順調 順調 やや遅れ	【活動の状況】 活動指標の実績を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 学校直結化数			動 実績 24年度実績 (達成率) 12 校	→ 大変順調 順調	【活動の状況】 活動指標の実績 を参考に、活動の
動計画活動指	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 学校直結化数 学校の直結化に要する工事費を助成した件数です。		20 校	動 実績 24年度実績 (達成率) 12 校	→ 大変順調 順調 やや遅れ	【活動の状況】 活動指標の実績を参考に、活動の 状況をチェック
動計画活動指	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 学校直結化数 学校の直結化に要する工事費を助成した件数です。	s 校 (大) 評価(分析 (大) 実績は61%の 近年、学校の耐	20 校 20 校	動 実績 24年度実績 (達成率) 12 校 60.0 %	→ 大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	【活動の状況】 活動指標の実績を参考に、活動の 状況をチェック やや遅れ

整理

「効率性」(同コストで高成果を)

の分析 ※民間活力導入の視点

【Action】→【Plan】			上記の評	平価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題			26年度の活動計画(見直し内容) その結果目指す成果(26年度の成果目標)

これまで既存口径で直結化ができないとされていた学校について、既存管の実使用量の調査を行いました。このデータをもとに、本事業でより多くの学校が直結化できるように検討を行っていきます。

		PDCA	チェックシ-	- ト	(平成 24 年	F度	実績評価)			担当局 担当課 課長名	計	水道局 画課 谷
事業名	配	水管更新事業								<u> </u>	施策番号 - (3)	- 1
事業概要	事業 老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、赤水、不出水の解消や管破損事故を防止し、安全で安定的な給水を確保します。								を確			補助金 負担金 指定管理
П	事	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人	目安の金額	課長 1.	00人	(
スト	業費	3,335,821 千 円	3,800,000 千 円			件 費	296,125 千円	1717	10 人 15 人	(人件費備考)		

		【Plan】計画 →	【Do】実施	→ 【Ch	eck】評価		
目的	何を(誰を) どのような状態 にしたいのか	老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、まを防止し、安全で安定的な給水を確保します。	成 果 平成24年度 実 い、安定給水 積		記水管更新を行 Iました。		
	指標 (對	牧値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) 段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
代表的な成	安定して供給で 老朽化した配す。 (最終目標と目標	水管を更新することにより、水道水の安定供給を目指しま	-	安定給水 の向上	- %	大変順調順調	代表的な成果指標の実績などを 参考に、成果の 状況をチェック
果指標	(最終目標と目標年度)					やや遅れ 遅れ	順調
活動計画	第3期配水管 行います。	更新計画は年間45kmの配水管更新を行うものですが、今年。	度は、年間50㎏	mの配水管更新を	活動 実 積	下記のとおりて	ें च
	指植	票(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
活動指	配水管更新延長計画どおりに	長 50km 配水管更新事業が進められているか表すものです。	57.5 km	50 km	46.1 km	大変順調順調	活動指標の実績を参考に、活動の 状況をチェック
標						・ やや遅れ - 遅れ	順調

	【Check】評価(分析)								
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	平成24年度の目標である配水管更新50kmに対し、工事発注延長は50.5km、また、46.1kmの配水管更新を終えているため、活動、成果とも順調であると考えています。							
い題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	実施設計において経済性等も考慮した最適な工法を採用しているため、これ以上の高い効果は得られないと考えています。							

ctic	on]→【Plan】	上記の評	『価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
			26年度の活動計画(見直し内容)
課			
題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
	課	課	課

		PDCA	チェックシー	- ト	(平成 24 年	F度	実績評価)			担当担当課長	課	下水道	水道局
事業名	合		—————— 善							II		番号	· (A)
事業概要	版 放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減するため、合流式下水道の改善に努め、良好な水環境をつくります。									事業手法	· 全部委言 一部委言	_	補助金 負担金 指定管理
П	事	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人	目安の金額	課長	0.60 人	(人件費	/ #本\		
スト	業費	2,256,804 円	2,800,000 千 円			件 費	121,150 千円	係長 職員	1.75 人 12.90 人	八件貝)州 <i>行)</i>		

		【Plan】計画 →			[D	o】実施	→ 【Ch	eck】評価
目的	何を(誰を) どのような状態 にしたいのか 水池の設置などを進め、良好な水環境をつくります。					難ですが、下	水放流先の流	値化することは困 汚濁負荷を軽減す 対善を目指します。
	指標 (對	牧値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) 段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標		F度実績 を成率)	→	【成果の状況】
	合流式下水道0	D改善推進						
表的		う流化下水道並みの軽減、夾雑物の削減、放流回数の半減 上の安全確保を行うため合流式下水道の改善を目指しま	-	合流式下水道 の改善		-	+ 赤 晒 電	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック
な成	(最終目標と目標	票年度)				- %	順調	N/20C / - / /
果指							やや遅れ	
標							遅れ	順調
	(最終目標と目	票年度)						
活動計画		を更新に併せ一体的に取組むことはもとより、河川整備等の付 道の改善を進めます。	也事業とも緊密	な連携を図りなが	活動実績	活動実績はて	下記のとおりて	^इ चं 。
	指植	票(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標		F度実績 を成率)	→	【活動の状況】
活動		分流化及び雨水滞水池の設置を行っていくことで、合流式	26.1 %	30.7 %		30.7 %		活動指標の実績を参考に、活動の
指	下水道の改善を	を進めることができます。			100.0 %		順調	状況をチェック
標							やや遅れ	
							遅れ	順調

【Action】→【Plan】			上記の評	価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
見直				
يا	課			
状况	題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
況等				

		担当局	上下水道局
	PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)	担当課	施設課
		課長名	中村
事		旅	施策番号
業名	下水道資源の有効利用	VI - 3	- (3) - ④
事業概要	下水汚泥のバイオマスエネルギーとしての燃料化やさまざまな資源としての有効利用、また処理水の再利用による循環利用などを行います。	■ 直営 ■ 全部 □ 一一 一 一 一 一 その・	委託 □ 負担金 委託 □ 指定管理
П	事 24年度執行額 25年度当初予算額 (事業費備考) 人 目安の金額 課長 1.00人	(
7	世 一	(人	

ĥ	費 1,498,770 円	1,907,231 円	費	127,275 千	円 職員 12.33 人		
		【Plan】計画 →			【Do】実施	→ (Ch	eck】評価
目的		オマスエネルギーとしての燃料化やさまざま よる循環利用などを一層進めます。	≅な資源 <i>と</i> して0)有効利用、また処	成		
	指標(数値化できない場合 (上段:指標名 下段:	合は、目指している状態を文章で記載) 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	下水汚泥の再資源化率						
代表的		泥をセメント原料化や一般ごみとの混合焼 耳利用することで再資源化を行った割合。	92.4 %	95 %	92.5 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック
な成	(最終目標と目標年度)平成25年	年度に95%			97.4 %	順調	
果指	下水処理水有効利用率					やや遅れ	
標	浄化センターで処理した水を場内水として再利用した割合。	内の雑用水や修景用水、民間工場等の用	7.4 %	7.1 %	7 %	遅れ	順調
	(最終目標と目標年度)平成25年	年度に7. 1%			98.6 %		
活動計画	現在の下水汚泥処理方法以外! また下水処理水の有効利用はE います。	こ、更なる再資源化に向け汚泥燃料化設備の 標を達成していますが、更なる向上のため。	の導入を検討し 、現状以外の₹	ます。 用方法の検討を行	活 動 下水汚泥につ 定を締結しま		料化事業の基本協
		場合は、活動内容を文章で記載)名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
-	更なる再資源化へ向けての検討		燃料化事業	燃料化事業の基本	基本協定を締結し	大変順調	活動指標の実績
活動指		「検討します。燃料化設備により、火力発電	の要求水準 等の検討	協定を締結する	- %	順調	を参考に、活動の 状況をチェック
標	他の用途への有効利用について	の検討			_	やや遅れ	
	成果指標の目標値を達成してい のためその他での利用用途を検	ますが、現状の利用形態だけでは、頭打ち 討する必要があります。	-	-	- %	遅れ	順調
		[Choole	】評価(分類	E \	,,,		
分析及び課	【活動の状況】 を踏まえた分析	成果指標は目標を下回っていますが、目標り進んでいるため、順調としました。下水汚別方法が確立されています。下水汚泥燃料化きるよう努めていきます。 下水処理水については、今後、より再利用料	値に近い数値を 記については、 が実施されるこ	を達成しており、活動 セメント原料化および とで再資源化率の向	ドー般ごみとの混合物 対上が期待されます。	尭却という有 交	が活用できる処理
題の整理		下水汚泥の処理については、経済性や処理 す。	の安定性を考	慮し、より温室効果フ	ガス削減効果が高い	燃料化などへ	変更していきま

[Ad	etic	on]→【Plan】	上記の評	「価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
見直				
اِ	課			
状況	題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
等				

PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価) 担当局 上下水道局 担当課 海外事業課 課長名 中嶋 技術の国際協力 施策番号

事	١.		_								他 策都	一	
業名	水	道技術の国際協	引力							VII	- 1 -	(3)	- 2
事業概要	連市を図	「の浄水技術や漏水削減 「などへ職員を派遣し、カ 「り、世界に貢献する水道 」します。	く質の向上、漏水の削減	などに取り組みます	。加えて、各	国の配	肝修員の受け入れなど、	国際協	力•交流	事業手法	■ 直営 □ 全部委託 □ 一部委託 □ その他		補助金 負担金 指定管理
П		24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人	目安の金額	課長	0.70 人				
ス・		11,113 千	13,545 円			件	36.425 千円	係長	2.05 人	(人件	費備考)		
4		'','''3 円	13,343 円			費	30,423 [1]	職員	1.05 人				

	【Plan】計画 →				o]実施	→ [Ch	eck】評価
目的	本市の浄水技術や漏水削減などの技術を活かし、カンボジー 何を(誰を) どのような状態 に取り組みます。加えて、各国の研修員の受け入れなど、国する水道を目指します。また、本市上下水道局職員の国際原技術の習得にも寄与します。	し、水質の向上 国際協力・交流を	L、漏水の削減など を図り、世界に貢献	成果		・研修生を継ん	売的に受入れ、水
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標		年度実績 達成率)	→	【成果の状況】
	国際技術協力でアジアの発展に貢献						
代表的分	国際技術協力を通じ、本市が有する技術やノウハウを輸出することによって、海外技術者の育成を図ります。	_	開発途上国の 技術向上を 目指します。		-	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック
な成	(最終目標と目標年度)				- %	順調	
果指						やや遅れ	
標						遅れ	
							大変順調
	(最終目標と目標年度)						
活動計画	カンボジア王国地方都市における水道事業人材育成、ベトナム国ハイフォン中国大連市周辺都市の漏水削減などのために職員の派遣や研修員の受けけ入れを実施します。			活動実績	海外の水環均 的に人材育成	竟改善が進め ばに取り組みる	られるよう、積極 Eした。
	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標		年度実績 達成率)	→	【活動の状況】
**E	海外からの研修員受入人数	-			86 人	大変順調	活動指標の実績
活動	本市の提案により採択を受けたJICA草の根技術協力事業及び自治体国際化協会(CLAIR)事業を活用した受入研修に加え、国際協力機構(JICA)や北九州	45 人	80 人	<u> </u>		順調	を参考に、活動の 状況をチェック
指標	国際技術協力協会(KITA)などの依頼により受け入れた研修員の人数です。				107.5 %		
						やや遅れ	大変順調
						遅れ	八处风叫
	[Check	、】評価(分t	行)				
分	【成果の状況】 本市の提案により採択を受けたJICA草の根			≙(CI	AID)の受え研	・修仁加え、IT	CAやKITAの依頼
析	【活動の状況】 による受入研修などの国際協力を継続的による受入研修などの国際協力を継続的に						

以下、予算案作成時に記入

「経済性」(同成果を低コストで)

「効率性」(同コストで高成果を) の分析

※民間活力導入の視点

題の

理

A	etic	on]→【Plan】	上記の割	価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
_				
見直				
โ	課			
状	題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
況等				

国際協力機構(JICA)の制度を積極的に活用することにより、本市のコスト縮減を図っています。民間活力の導入について、日本において水道事業は地方自治体によって運営されており、そのノウハウは自治体にあります。したがって、民間の協力も必要ですが、実施主体として市が関わっていく必要があります。

		PDCA	チェックシ-	- 	(平成 24 年	F度	実績評価)			担	当局 当課 長名	海外	下水道局 小事業課 中嶋
事業名	水	道分野における	海外水ビジネス							VII	施 1	策番号 - (3	3) - 2
事業概要	ルニオ	ト水ビジネスは、2025年に らいても、アジアを中心と 5公共団体の運営・管理	した水インフラ分野の海	外展開が位	立置づけられています。	、この。	ような中で、日本企業の	国の新成 優れた打	長戦略 技術と、	業手	■ 直営 □ 全部 □ 一部 □ その □ その	委託 口	110-53-22
П	事	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考	善)	人	目安の金額	課長	1.30 人		(
ス・	業	42,251 千	87,612 千			件	49,075 千円	係長	1.95 人	(人件	費備考)		
٢	費	42,231 円	87,612 円			費	73,070 [1]	職員	1.95 人				

	【Plan】計画 →			【Do】実施	→ [Ch	eck】評価
目的	何を(誰を) どのような状態 にしたいのか を推進することを目指します。	い ウを公民連携	し、海外水ビジネス	成 ・カンボジア・ 市の上水道技 月~H25年3 ・センモノロム	広張整備計画 月) 、市水道整備。	す。 コンポンチャム両 準備調査(H24年5 基本計画・実施設 4年1月〜H27年3
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
な	海外水ビジネスの受注 アジアを中心をした国や地域を対象に、上水道に関するビジネス案件を受注します。	9,095 円	1	21,602 千円	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック
成果指	(最終目標と目標年度)			- %	やや遅れ	
標					遅れ	大変順調
	(最終目標と目標年度)					
活動計画	「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を中心として、国際技術協力により引 カンボジア、ベトナム、中国、インドネシアを当面の対象として、水ビジネスを		フークを築いている	加 ・IWA釜山 ジ 9月) ・ベトウォータ	ーに出展(H24	オンに出展(H24年
	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
指	海外水ビジネスの推進 「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、技術・製品の具体的な売り 込みや各種展示会への出展、広報活動など、セールスプロモーション活動 を進めます。	_	-	- - %	大変順調順調	活動指標の実績 を参考に、活動の 状況をチェック
標					やや遅れ 遅れ	大変順調

 分析 及 び び び で 課題 の の が 整理 理 理 理 の が に が 部要因などの視点
 にジネス対象国であるカンボジアやベトナム・ハイフォンで、案件形成活動を行い、着実に事業展開を進めています。その結果、2件 のビジネス案件受注を受けるなど、成果が現れており、活動・成果とも大変順調と評価しました。

 が 部要因などの視点
 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点
 はジネス案件受注を受けるなど、成果が現れており、活動・成果とも大変順調と評価しました。

 が 部要との の分析 ※民間活力導入の視点
 北九州市海外水ビジネス推進協議会と連携し、事業に取り組むことで、情報交換・情報共有を図っており、効率的な運営を行っています。水道分野の管理運営ノウハウは、自治体が有していることから、今後も官民連携しながら事業に取り組んでいきます。

【Check】評価(分析)

[A	ctic	on]→【Plan】	上記の評	「価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
見直し状況等	課題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)

		PDCA	チェックシ	- ト	(平成 24 年	F 度	実績評価)			担:	当開当課長名	海外	水道局事業課
事業名	下	水道技術の国際	紧協力							VII ·	施 - 1	策番号 - (3)	- 2
事業概要	や淮 界 <i>0</i>	ジアを中心とした国や地域 毎外からの研修員受入れ D水環境改善に貢献しま 『与します。	により、下水道の計画で	づくりや維持	管理等に関する指導	を行う	ことで、海外の技術者の	育成を	進め、世	事業手	■ 直営 □ 全部 □ 一部 □ その	委託 🗆	補助金 負担金 指定管理
⊐	事	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人	目安の金額	課長	0.89 人	(•		
スト	業費	12,858 千 円	12,739 千 円			件 費	29,035 千円	係長 職員	0.89 人 1.32 人	(人件)	費備考)		

スト	業 費 12,858 千 円	12,739 千円	件費	29,035 千		(人件費備考)	
		【Plan】計画 →			【Do】実施	→【Ch	eck】評価
目的		水環境の改善が必要な国や地域に対し、本で ウハウを活かした指導を行い、海外の技術者			成果 世界各国から 水道技術の向		売的に受入れ、下 ヽます。
	指標(数値化できない場 (上段:指標名 下段	合は、目指している状態を文章で記載) :指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	国際技術協力でアジアの発展に	二貢献					
代表的	 海外の技術者育成のため、本市 ます。 	「職員の派遣や海外研修員の受入れを進め	_	開発途上国の 技術力向上を 目指します。	-	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック
な成	(最終目標と目標年度) 研修員	0の受入: 2,200人以上(平成32年度)			– %	順調	
果指						やや遅れ	
標						遅れ	大変順調
	(最終目標と目標年度)						
活動計画		効率的・効果的に伝えるため、国際技術協力 われ九州国際技術協力協会(KITA)や国の「 。			活 動 海外の水環均 実 積極的に人材		が進められるよう、 組みました。
		い場合は、活動内容を文章で記載) 票名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	海外からの研修員受入人数	IOA 芸の担け伝わる古世及びウン仕屋敷ル			407 人		活動指標の実績
活動	協会(CLAIR)事業を活用した受入	ICA草の根技術協力事業及び自治体国際化 、研修に加え、国際協力機構(JICA)や北九州 D依頼により受け入れた研修員の人数です。	270 人	200 人	203.5 %	大変順調順調	を参考に、活動の 状況をチェック
指標						やや遅れ	
						遅れ	大変順調
45	[】評価(分類				
分析及び課	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	本市の提案により採択を受けたJICA草の根による受入研修などの国際協力を継続的にり研修生を受け入れており、大変順調としまこと、また本市のPR・イメージアップにも寄与	実施することに した。成果につ	より、現地の技術力 いては、研修生の受	向上に寄与していま け入れを通じて開発	す。活動につ	いては、予定どお
味題の整理	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	受入研修については、JICAや国土交通省のまた、講師謝金を下水道会計の収入としてい			スト縮減を図っていま	す。	

[A	ctic	on]→【Plan】	上記の評	『価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
				26年度の活動計画(見直し内容)
見				
直				
ا ا	課			
状況	題			その結果目指す成果(26年度の成果目標)
等				

担当局	上下水道局
担当課	海外事業課
課長名	中嶋
施	策番号
	(a) @

		PDCA	ナエツクン・	- r	(平成 24)	牛俣	天槓評個)				当課		事業課
										課	長名	+	嶋
事		1 22/ 42 222 1 2 4									施策	番号	
業名										VII	- 1 -	- (3)	- 2
事業概要	▼ 「北元州市海外水ビンネス推進協議会」を軸に、目氏かそれぞれ有する央知を結集し、2025年に約8/兆円規模に成長すると見込ま 本る海外水ビジネスに参入し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営までを含む海外の水ビジネス案件の受注を目指し ます。									補助金 負担金 指定管理			
П	事	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考	()	人	目安の金額	課長	1.11 人		(
ス・	業	12710 '	32.842 千			件	36.465 千円	係長	1.11 人	(人件:	費備考)		
۷	費	43,740 円	52,642 円			費	30,400 111	職員	1.68 人				

	【Plan】計画 →	【Do】実施 →【Check】評価						
目的	何を(誰を) どのような状態 にしたいのか にしたいのか	成果実績は下記のとおりです。 ・インドネシア国スラバヤ市下水道整備計画等3 定業務(H24.11~H25.3) ・カンボジア国シェムリアップ市下水道整備計画 等策定業務(H25.2~H25.3)						
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標		年度実績 達成率)	→	【成果の状況】	
	下水道に関するビジネス案件の受注							
代表的	アジアを中心とした国や地域を対象に、下水道に関するビジネス案件を受 注します。	_	-		3,157 千円	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の 状況をチェック	
な成	(最終目標と目標年度)				- %	順調		
果指	水ビジネスの国際戦略拠点の開設	-				やや遅れ		
標	市内の日明浄化センター内に水ビジネスの推進に必要な国際戦略拠点を 開設します。		実施設計完了	実施	拖設計完了	遅れ	順調	
	(最終目標と目標年度)平成27年度開設				- %			
活動計画	本市が人的ネットワークを有する中国大連市やベトナム・ハイフォン市、イン した下水道ビジネス案件の受注に向け、官民連携による活動を行います。 水ビジネスの国際戦略拠点開設に向けた実施設計が円滑に進むよう、豊富 水道事業団) やコンサルタントと連携した検討および関係課会議を開催します		活動実績は下記のとおりです。					
	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標		年度実績 達成率)	→	【活動の状況】	
	ビジネス案件の受注に向けた活動							
動指	「北九州市海外水ビジネス協議会」を軸に、技術・製品の具体的な売込みや 各種展示会への出展、広報活動など、セールスプロモーション活動を進め	-	_	_		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の	
	ます。			- %		順調	状況をチェック	
	円滑な実施設計の取りまとめに向けた活動			***		やや遅れ		
	豊富な実績を有する専門機関(日本下水道事業団) やコンサルタントと連携 した検討および整備方針やスケジュールなどを整理する関係課会議を開催	_	_	J.	適宜実施	遅れ	順調	
	します。				- %			
【Check】評価(分析)								

【Check】評価(分析) 【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 分析及び課題の 北九州市海外水ビジネス推進協議会を軸にセールスプロモーションを行うことで、平成24年度は2件のビジネス案件受注に繋がっています。また、水ビジネスの国際戦略拠点の開設については、平成27年の供用開始に向け、当初予定通り、実施設計を取りまとめました。このことより、活動・成果とも順調としました。 外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 官民連携組織である北九州市海外水ビジネス推進協議会を軸に、民間の技術力や資金力と自治体の事業運営ノウハウや信用力を結集して、効率的・効果的に事業を実施しています。 「効率性」(同コストで高成果を) 整理 の分析 ※民間活力導入の視点

【Action】→【Plan】			上記の評	「価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題			26年度の活動計画(見直し内容)
				その結果目指す成果(26年度の成果目標)